製品情報比較表（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 後　　発　　品 | 先　　発　　品 |
| 会　　社　　名 | 第一三共エスファ株式会社 |  |
| 製　　品　　名 | パロキセチン錠10mg「DSEP」 | パキシル錠10mg |
| 薬　　　　　価（2024年4月1日時点） | 16.20円 | 40.90円 |
| 規　　　　　格 | 1錠中にパロキセチン塩酸塩水和物（日局）11.38mg（パロキセチンとして10mg） |
| 添加剤 | リン酸水素カルシウム水和物、デンプングリコール酸ナトリウム、ヒプロメロース、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナウバロウ | デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、リン酸水素カルシウム水和物、ヒプロメロース、マクロゴール400、ポリソルベート80、酸化チタン、三二酸化鉄 |
| 薬効分類名 | 選択的セロトニン再取り込み阻害剤 |
| 効能又は効果 | ○うつ病・うつ状態○パニック障害○強迫性障害○社会不安障害○外傷後ストレス障害 |
| 用法及び用量 | 〈うつ病・うつ状態〉通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20～40mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。〈パニック障害〉通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして30mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日30mgを超えない範囲で適宜増減する。〈強迫性障害〉通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして40mgを経口投与する。投与は1回20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日50mgを超えない範囲で適宜増減する。〈社会不安障害〉通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。〈外傷後ストレス障害〉通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。 |
| 製品の性状 | 帯紅白色のフィルムコーティング錠

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 直径：6.5mm　厚さ：3.6mm重さ：152mg |
| 識別コード： | パロキセチン　10　DSEP |
|  | パロキセチン　10　第一三共エスファ |

 | 帯紅白色のフィルムコーティング錠直径：6.6mm　厚さ：3.6mm　質量：178mg |
| 先発品との同等性 | 「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき判定した結果、すべての溶出試験条件のうち、pH6.8試験液、水（50rpm）及びpH5.0試験液（100rpm）では判定基準に適合したが、pH1.2及びpH5.0（いずれも50rpm）では判定基準に適合せず、パロキセチン錠10mg「DSEP」と標準製剤（パキシル錠10mg）の溶出挙動が類似しているとは判定できなかった。なお、健康成人男子を対象とした生物学的同等性試験では、両製剤の生物学的同等性が確認されている。 | 生物学的同等性試験（健康成人男子、絶食時） |
|  | 「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき判定した結果、パロキセチン錠10mg「DSEP」と標準製剤（パキシル錠10mg）の生物学的同等性が確認された。 |
| 備考 |  |
| 担当者、連絡先 |  |

2024年7月